

### 令和5年度 企画展示

- 文書館開館 10 周年・高井鴻山記念館  
開館 40 周年・図書館開館 100 周年 -  
「歴史と文化の町に立つ」を  
開催中です  
会期:10月28日まで

本年は、文書館開館 10 周年、高井鴻山記念館開館 40 周年、そして図書館開館 100 周年という記念すべき節目の年に当たります。文書館では、これら文化施設が開館したその時に焦点を絞って、関係写真パネルを展示・解説しています。

このうち高井鴻山記念館に関しては、「儵然楼」とその周辺を整備して一般に公開する準備が本格化したのは、昭和 57(1982)年に入ってからで、所有者の高井進氏のご理解を得て、儵然楼の敷地約 1,950 m<sup>2</sup>とともに儵然楼や文庫蔵などの建物も譲り受けました。高井鴻山記念館は、翌昭和 58 年 11 月 24 日に開館しました。この日は、「高井鴻山翁没百年祭」として執り行われ、墓前祭が午前 11 時から祥雲寺本堂で行われた後、開館式が挙行されました。なお、記念館の一般公開は、翌 11 月 25 日から行われました。



写真: 高井鴻山記念館「儵然楼」開館のテープカット  
(中央は中村功町長)(昭和 58 年 11 月 24 日)



写真: 記念館開館を祝ってのこけら落とし「北斎太鼓」の披露(昭和 58 年 11 月 24 日)

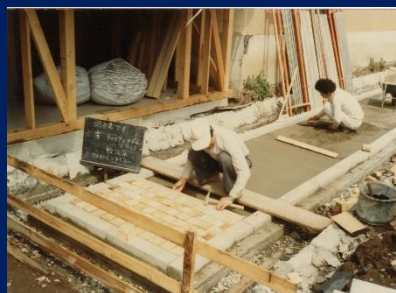


写真: 儵然楼周辺整備進む(まちづくり特別対策事業  
散策道工事)(「栗の小径」)(昭和 60 年 3 月)



写真: 高井鴻山記念館「管理棟」の整備  
(民家の曳家移転)(昭和 60 年 5 月)

### - 史料調査 始まる -

7/30~  
8/1



横浜国立大学の多和田雅保教授と、ゼミ生(参加 11 人)による史料調査が、令和元年の小山家文書の調査以来、4年ぶりに文書館で行われました。今回は、町組の個人蔵の文書を対象に、大福帳など近代の商業資料の調査(整理、撮影、目録づくり)が、7月30日から8月1日まで行われました。今後も年に何回か来町され、引き続き史料調査が行われます。